

式 辞

本日ここに、千曲市制施行二十周年記念式典を開催いたしましたところ、ご多用中にもかかわらず、国会議員の皆様をはじめ、ご来賓各位並びに関係の皆様方、市民の皆様のご臨席を賜り、このように式典が挙行できますことを心から厚く御礼を申し上げます。

また、姉妹都市の愛媛県「宇和島市」、富山県「射水市」、千葉県「横芝光町」からも、遠路お越しいただきましたこと、心より感謝を申し上げるとともに歓迎をいたします。

さて、千曲市は、旧更埴市・旧戸倉町・旧上山田町の一市二町の議会の主導のもと、この地域が合併すべく長年協議がなされ、平成十五年九月一日、平成の大合併と時を同じくして誕生しました。市の中央部を清流「千曲川」が流れ、「戸倉上山田温泉」や「あんずの里」、国の史跡「森將軍塚古墳」、令和二年に「月の都 千曲」として、日本遺産に認定された姨捨の棚田地域一帯など、豊かな自然や歴史的・文化的遺産に恵まれた当市は、地域の一体化を進めるため都市基盤整備の充実に努めながら、交通の要衝として様々な産業の集積を図り、発展を続けてまいりました。

今日の発展を遂げることができましたのも、諸先輩方をはじめ、本日、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様方はもとより、後ほど、式典の中で表彰を受けられる市政進展にご尽力賜りました皆様、様々な分野で長年ご活躍されました皆様、そして市民の皆様方のご支援・ご協力の賜物であり、心から敬意を表し、感謝を申し上げる次第であります。

一方、急速な人口減少・少子高齢化の進行に加え、地球温暖化による気候変動と自然災害の激甚化、頻発化、更には、新型コロナウイルス感染症の拡大、また、ロシアのウクライナ侵攻の長期化、原油高・物価高騰など、私たちを取り巻く環境は、市民生活においても、また地域経済においても極めて厳しい状況が続いており、今日、多くの課題に直面する自治体には、将来を見据えた持続可能な新たなまちづくりが求められています。

千曲市は、令和四年度を初年度とする第三次千曲市総合計画において、こうした課題に対応したまちづくりを進めるため、七つの基本目標を定め、市の目指すべき将来像を「人をてらす 人をはぐくむ 人がつながる 月の都 ～文化伝承創造 都市・千曲～」と掲げました。これまで先人たちが築き上げてこられた様々な特色ある文化をさらに磨き上げ、進化させ、そして新たな文化を創造し、次世代に繋いでいけるよう、市政を推進してまいります。

そして、十年、二十年先においても、市民の皆様が将来にわたって住み続けたいと実感できるまちづくり、多くの方が「訪れてみたい」「働いてみたい」「暮らしてみたい」と思っただけのような魅力あるまちづくりを目指してまいります。

本日ここに、「市制施行二十周年記念式典」を開催し、「文化伝承創造都市・千曲」の実現に向け、決意を新たにするとともに、市民の皆様お一人おひとりが千曲市への愛着を一層深め、市民としての誇りを育みながら、未来に夢や希望を持って、心豊かに笑顔で安心して暮らすことができるよう、職員とともに、心血を注ぎ、努力を重ねてまいります。

結びに、本式典にご臨席を賜りました皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。市制施行二十周年記念式典の式辞といたします。

令和五年九月一日

千曲市長 小 川 修 一